

平成21年度 アクションプログラム実施メニュー実施結果表

大分西部森林管理署

取組名	「木うその森」づくり支援
流域名	大分西部流域
実施箇所及び実施日	九重山国有林（第1回）：平成21年7月16日 （第2回）：平成21年10月8日
取組の背景及び必要性	太宰府天満宮の伝統行事である鷲替えで使用されるコシアブラを、将来的に供給するための協定締結
取組の内容	<p>「木の文化を支える森づくり活動の推進について」（長官通達）に基づき、太宰府木うそ保存会等と協定締結。（H16. 3. 16）</p> <p>【これまでの取組内容】 木うそ保存会等は、ボランティア等により「木うその森」づくりに必要なコシアブラの植栽、天然更新の補助、刈り出しや除伐作業を実施している。</p> <p>【平成21年度の取組内容】 （1）植栽木の刈り出し及び除伐作業 （2）木うその原木採取</p>
国有林担当部局・役割	大分西部森林管理署（刈り出し及び除伐作業の指導）
連携協働相手先・役割	太宰府木うそ保存会、太宰府市、太宰府市商工会（「木うその森」の森林整備活動、木うその制作者育成等）

【取組状況】



刈り出し作業の状況



原木採取の様子

平成21年度 アクションプログラム実施メニュー実施結果表

大分西部森林管理署

取組名	ミヤマキリシマの保全活動
流域名	大分西部流域
実施箇所及び実施日	瀬ノ本国有林：平成21年11月16日
取組の背景及び必要性	長者原から牧ノ戸峠一带の国有林は、阿蘇くじゅう国立公園の要所となっており、ミヤマキリシマなどの高山植物の群生地としても知られているが、近年、ミヤマキリシマの群落の中には、衰退傾向にある群落も見られるため、保全活動を実施する。
取組の内容	<p>【これまでの取組内容】 ミヤマキリシマ群落の保全方策の検討に資するため、試験地0.1ha(50m×20m)を2箇所設定し、刈出し作業を実施。 平成19年度より経過観察の結果、被圧されたミヤマキリシマの樹勢回復や開花量が増加等傾向にある。</p> <p>【平成21年度の取組内容】 引き続き、刈り出し作業を実施した。</p>
国有林担当部局・役割	大分西部森林管理署 (環境省協議、ミヤマキリシマの刈出し等の指導)
連携協働相手先・役割	環境省・くじゅう保護官事務所、九重町、九重の自然を守る会、九重・飯田高原観光協会(ミヤマキリシマの刈出し作業等)

【取組状況】



刈出し作業



計測作業

12/6 大分合同

ミヤマキリシマの生育を調べる参加者

ミヤマキリシマの保全活動に40人汗
九重町牧ノ戸峠
九重町牧ノ戸峠
九重町牧ノ戸峠一带で、ミヤマキリシマの保全活動に取り組んでいる大分西部森林管理署は、九重の自然を守る会や環境省くじゅう自然保護官事務所、九重・飯田高原観光協会の協力

で、株の生育環境を整える作業を行った。同署員や守る会員ら約40人が峠の展望台に集合、栗林署長が「作業を始めて丸3年になり、効果が確実に出ています。今後も続けたコース沿いに設けられた2箇所はミヤマキリシマの

自生地。株が至る所に見られるが、生育を妨げるササやススキに深く覆われている。作業は株の周りのササなどをかき除くように環境を整えるのが目的。一昨年から刈り出し作業を進めながら、50本ほどの調査木を定め、木の高さや枝張りなどのデータを記録。作業区域外の株との生育効果を調べている。

平成21年度 アクションプログラム実施メニュー実施結果表

大分西部森林管理署

取組名	モデル林等の見学コース設定及び見学会の実施	
流域名	大分西部流域	
実施箇所及び実施日	大川内国有林：平成22年2月	
取組の背景及び必要性	長伐期複層林、針広混交林等の施業を体系的に学ぶ場、機会を設け、多様な森林整備の推進に寄与する。	
取組の内容	ウラセバルスギ展示林（高齢級複層林）に隣接する列状間伐実施箇所、ケヤキ造林地を結ぶ人工林施業のモデルコースを設定した。	
国有林担当部局・役割	大分西部森林管理署	（モデルコースの設定）
連携協働相手先・役割	大分西部流域活性化センター	（普及宣伝等に協力）

【取組状況】



見学コース入口



モデル林内見学コース